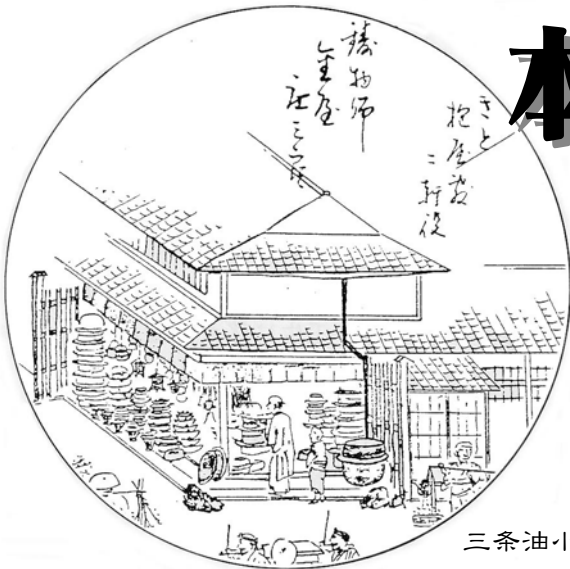


本能まちづくりニュース

第29号 平成17年10月1日発行

本能まちづくり委員会
委員長 西嶋直和

E-mail: post@honnoh.net
URL: <http://www.honnoh.net>



三条油小路町絵図より鑄物師釜屋庄三郎方

大阪市より来訪～本能まちづくりに学ぶ

8月20日午後、大阪市区役所・市民局職員有志「地域のまちづくりを学ぶ会」の方々が本能学区に来られました。本能自治会館会議室満杯の50名近い人数で、行政の立場から他地域のまちづくりを学ぶために自発的に集まられました。

真新しい会議室でまず講演会。本能まちづくり委員会より西嶋委員長が、小学校統廃合問題から地元住民が地域の将来を考える活動が重要と感じられたこと・本能まちづくり委員会の立ち上げの経緯と現在までの活動の紹介・跡地問題を乗り越え新施設が完成したこと等を述べました。

次に、行政の立場から(財)京都市景観・まちづくりセンター事業二課長高木勝英氏、両者を結ぶコンサルタントの立場から(株)UFJ 総合研究所善積康子氏が講演。二人は平成11年～13・4年にかけて本能まちづくり活動の支援をされた経験から、行政のあり方へのヒントを、以下のように語りました。

高木氏：都市づくり推進課にいた時のことで、行政施策を持たないまま地域に入ったが、このためにかえって地域の要望に耳を傾け、



臨機応変に支援できたと思う。18学区回って、はっきりした成果が出たのは3学区であるが、18学区入ったからこそ3つの結果を得られたのだろう。「歩いて暮らせるまちづくり」事業を地域に働きかけてよかったと思う。今後のまちづくりで、行政側には、とにかく地域に入って信頼を築きながら地域の課題を解決するよう動くことが求められる。

善積氏：最初は何をするべきか、コンサルタントと

して不安感を持ったが、地域に根付いたまちづくり組織をつくり、実行力を持たせることが3年間の課題と考えた。歩いて暮らせるまちづくり事業はタイムリーなテーマとなり、第一回『おいでやす染のまち本能』が開催でき、成果を示すことができた。地域の中でのいろんな意見を出し合い、決めていく方法が望ましい。そのために議論の整理・段階応じた情報提供・モデルの提示などの支援がコンサルタントとして求められる。地域の窓口となり調整力・推進力をもつ組織の育成が大切である。

熱の入った講演の後、2グループに分かれてまち歩き。勝山引染・上木友禪・松本金彩・土山印染様のご協力で、工房を公開していただきました。大阪市の方々は「こんなまちなかの普通の家で、このような伝統工芸が生み出されているとは思わなかった」と感動された様子でした。

工房見学を終えて会議室に戻り質疑応答。大阪市民局の方から「新しい住民への呼びかけ方は？」生野区役所の方から「区役所としてどういう動き方が望まれるか？」という問いかけがありました。これに対して西嶋委員長は「『本能学区まちづくりのしおり』の方針にあるように、町内会に入会してもらい、地元の情報が伝わるよう努力している。本能まちづくりニュース等は全戸配布している」「行政側は京都市都市づくり推進課の担当で、まちづくり委員会立ち上げ当初のように定例会毎に出席されることはないが、現在でも、電話一本で連絡できるし、出向いてもらえることもあり、他の場面でも顔を合わすことがあったりで、コミュニケーションがとりやすいのがあるがたい。地域に来られた時でも、来賓ではなく、地域住民と同じ目線で手伝ってもらえる。これが本当のパートナーシップではないか」「まちづくり委員会の委員は30名くらいであるが、いろいろなつながりで多くの人々がこれを支えて下さり、そのお蔭でやっていける」等と答えました。(関連記事4頁)

写真で見る 竣工・本能まつり

実行委員長 平野雅左夫

平成17年9月18日

本能まちづくりニュースのカラー版は、ホームページでご覧ください。<http://www.honnoh.net>

竣工式典 敬老会



竣工・本能まつり 準備完了



京都市副市長星川茂一氏の挨拶



敬老会受付 70 歳以上のお年より 320 名程参加



本能ホールでの敬老会



チンドンサークルさん 区内に 宣伝ご苦労様でした



本能ギャラリー 新施設完成ま での過程をパネル展示



堀川高校 Seminar Room 教壇はなく、車椅子の人でも手が届くように、黒板が上下できます



堀川に老松

本能自治連合会に京都社会福祉サービス協会から寄贈された勝山・高岡・荒木氏作のタペストリー

施設見学



高齢者福祉施設本能 蛸薬師一丁目のリビング・キッチンと個室。玄関には魔除けの鐘馗さん

11 時以後 15 分間隔で整理券を発行し、20 名単位で見学していただきました。午後 2 時に 3 時見学グループ分までの発券を終了。見学者は子供を含め 370 名でした。2 時以後、折角お越しいただきましたのに見学できなかった方がおられ、すみませんでした。



グラウンドでは屋台と出店



おいしそうなパン



新鮮な野菜はいかがですか！



どれにしようかな？



子供達に人気の金魚すくい



アツアツのたい焼き



葦笛演奏

舞台ではパフォーマンス



カントリーバンド



本能流に飾られた舞台と櫓で、開智童心太鼓



ダブルダッチ 子供達も仲間入り



京都御池中学のブラスバンド



少林寺拳法



若さ溢れるチアリーディング

取材メモ

講演を傍聴しました。やや一方通行的な研修会であるように感じましたが、我々もまちづくり委員会創設の頃は、何度同じ説明を聞いてもよくわからない・色々な意見は出るが堂堂巡りになる・モデルがなく先が見えない、そんな不安な状態であったことを思い出しました。行政・コンサルタントの3年間の支援で「本能まちづくり委員会」が動き始め、「地区計画の方針」を策定し、「本能まちづくりのしおり」を発行し、歩いて暮らせるまちづくり事業も実施してきました。現在では、行政と連携しながら、自立した地域組織として活動できるようになってきています。これは、学区の方々の熱意や地域を愛する気持ち、協力心のお蔭と痛感いたしました。そして、完成した新自治会館が、学区の皆さんの活動に、今まで以上に生かされてほしいという思いを強くしました。

大阪市の方は、市政改革本部が設置され、地域コミュニティー・地域まちづくりのあり方を検討されはじめたところとうかがっております。本能学区がモデルになりうるかどうかわかりませんが、本能学区での、大阪市職員の皆さんの体験が、何かの役に立てば幸いです。(N村)

◆◆◆◆担当者からのお便り◆◆◆◆

先日は、私ども大阪市職員のために貴重なお時間を頂戴したうえに懇切丁寧なご説明をいただきありがとうございました。当区の職員も大変有意義であったと感激しております。私どもも地域の方々と協力して、特色ある住みよいまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。本能学区の発展とまちづくり委員会のますますのご活躍をお祈り申し上げます。8月23日 大阪市此花区役所 区長 村上栄一

お礼が遅くなり申し訳ありませんでした。当日は、大変お忙しい中、非常に興味ある内容をお話いただきました。まちづくりを実践されてきた生の声をお聞かせいただきまして、まちづくりの心というか、今までにない感動を受けてまいったところであります。50名弱といった多数のメンバーでしたが、それぞれに熱い思いをもって帰らせて頂きました点、お礼申し上げます。

大阪市はこれまでの様々な点を大いに反省し、いままでの流れを大きく変えて行かねばなりません。市民との信頼関係の中で、あらためて市の職員としてやっぱり市に勤めてよかった、と思うような内容を一つでも二つでも残せれば、と思っております。そういった意味でも、貴重なご意見をうかがい、体験をさせていただきましたことを感謝いたします。

委員長が最後に、まちづくりは自分のため、自分の気持ちからやっているというボランティアの精神を言われましたが、まさにまちづくりに関わる基本かと思いました。本能まちづくり委員会のご発展と、西嶋さまのご活躍を心よりお祈りいたします。8月30日

大阪市民政局 区行政・市民活動担当部長 小倉健宏

先日は、学習会の開催、ありがとうございました。たいへんお礼が遅くなり、申し訳ありません。

政令指定都市では、区役所のあり方、区行政のあり方が、さまざまなかたちで議論されています。私どもは、まさにそういった検討を進めているわけですが、当然のことながら、いま、自ら抱えている状況から、どのように変わっていくべきなのか、そのことが、まず、なかなかイメージがつかめずにいました。

昨年度末から、UFJ 総合研究所の善積さん・島崎さんにお手伝いをいただきてきたのですが、いろいろなあり様がある中で、なお、イメージがつかめずにいました。(本能学区のお話もそんな中ではうかがってはいました。)考えている人間がそんな状況ですから、区役所に伝えることはなかなか難しい。こんなこと・あんなことできないか……。漠然としたイメージを伝えるよりも、実例をみた方がいかに決まっているし、自分自身も行ってみたい……。そんなつかみどころのないまま、「区役所にも共通の体験をさせたいんです」という趣旨だけで、善積さん・島崎さんに相談しましたところ、こころよくコーディネートを引き受けていただけました。

「地域のまちづくりに学ぶ職員有志」というのは、出張経費も何も出ないために考えた方便で、有志の割には、質問もあまりなかったなあと感じられたかもしれません。漠然としたまま、議論の土台になる共通の体験をしたいというだけで、お願いしたものですから、組織内のコミュニケーションが欠落していると言わざるを得ません。

そんな中でも、聞こえてくる感想の中には、「職員もあれくらい熱心に地域に入り込まないとだめだってことかな?」とか、「地域の中でもいかに若手を引き入れるか、そんな仕掛けがどうやったらできるか」と言った声もあり、少しでも次のステップにつながる成果があったのではないかと、感じています。

私自身は、委員長の柔軟な発想と説得力に非常に感心いたしました。その背景には、細かい調査とそのデータに基づいた地域の中での熱心な議論があるように感じました。今、私たちの課でも、大学やコンサルの協力を得て、少しでも客観的なデータに基づく現状把握をすべきでないかと、議論を始めています。

工房開放で感じた職人さんの職に対する「自信と誇り」に、私も少しでも近づくことができたと感じています。

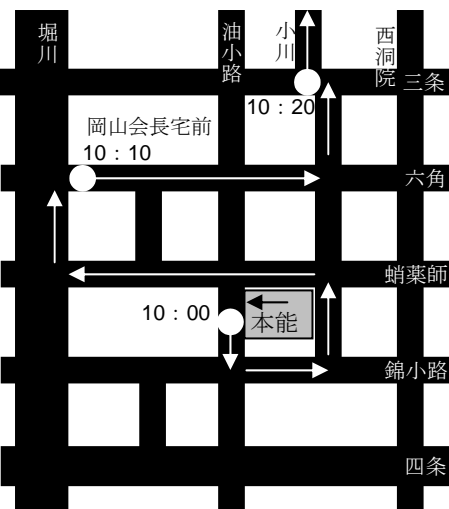
長々と取り留めのない感想になりましたが、私たちの最初に企画した段階よりも、実際の学習会は数段よいものになったと感じています。参加した職員に、何かを始めるきっかけになればと願ってやみません。あらためてお礼を申し上げる次第です。本当にありがとうございました。9月2日

大阪市民政局市民部 区政課長代理 加藤憲治

時代祭 10月22日(土) 午前10時 本能グラウンドから出発します

鎌倉時代
城南流鏑馬列
巡行コース

詳しくは連合会のお知らせをごらんください



まちなかを歩く日2005 11月5日(土)~6日(日)

「おいでやす染のまち本能」

- 公開工房ツアー・マイキモノプロデュース
 - お茶席、伝統工芸実演
 - しぼり帯揚げ制作体験(半日かけてじっくり)6円のみ
- 詳しくはポスター、チラシをごらんください

ひとりとご

◎天候に恵まれ、暑かったですが、竣工本能まつりが盛会でよかったです。(N村)

◎写真で見る「竣工・本能まつり」はいかがでしたか。

参加できなかった人にも少しは雰囲気味わってもらえたかもOM